2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
（管理番号）	03	03	08	01	002155000	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

政策シート　政策名　08　緑化推進・緑地保全

予算費目名　01　緑化推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野　03　安全・安心・快適

理想の姿（30年後）	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱（10年後）	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策　03　市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要（当年度（2024年度）実施内容）

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	④教育	⑤ジェンダー	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑭海洋資源	⑮陸上資源
⑯平和	⑰実施手段								

2 政策コストの状況（千円）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	870,141	589,079	589,911	470,835	746,500	558,307
決算	835,478	568,712	576,813	452,318	741,577	555,391
人件費(報酬等)(A)						
人件費（人工分）(B)	121,520	113,840	114,540	112,100	121,200	128,200
年間経費(決算+A+B)	956,998	682,552	691,353	564,418	862,777	683,591

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
フラワーパークの入園者数	人	目標	490,000	500,000	470,000	470,000	470,000	470,000
		実績	460,286	351,176	352,359	408,881	394,914	670,090
花づくりに関連するボランティア参加者数	人	目標	13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	11,003	7,318	7,092	7,333	9,276	8,136
		目標						
		実績						

4 当年度（2024年度）政策評価

(1) 当年度（2024年度）実施内容

花と緑を守り育てる活動を協働により推進し、市民生活に花と緑があふれる快適で豊かなまちづくりを進めました。

(2) 政策評価（政策の進捗及び課題）

＜進捗＞　計画通り

・フラワーパーク入園者数は、前半の浜名湖花博2024の事業効果が大きく、67万人に来場いただき、目標を大きく上回ることができました。後半は、入園者数が計画より下回っているため、秋・冬の集客に向けた運営の工夫が必要であると考えます。
・花づくりに関連するボランティアによる様々な活動を促すことで、花と緑のまち・浜松の普及啓発を推進しました。
・市民協働による緑地保全を進めるために、市民の森を活用した提案事業を支援し、地域住民が参加する保全活動を推進しました。

2024年度	（管理番号）分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト（千円）	事業費（千円）	人工				報酬（千円）
							正規	再任用（31h）	再任用（26h）	会計年度（人事課）	
1	緑化推進センター運営事業	－	－		52,015	47,457	0.6	0.1			
2	舘山寺総合公園運営事業	○	○		256,902	219,862	5.3				
3	花と緑のまち・浜松推進事業	－	－		102,138	77,657	3.2			1.0	
4	緑地保全事業	－	－		53,195	36,208	2.1	0.9			
5	緑の基本計画事業	－	－		10,678	5,778	0.7				
6	市街化区域内農地緑化保全事業	－	－		10,302	7,241	0.5				
7	浜松城公園長期整備構想推進事業	－	○		6,883	5,576	0.2				
8	（新規）日本植物園協会大会開催事業	－	－		17,404	15,304	0.3				
9	花と緑の基金積立金	－	－		136,380	135,257	0.2				
10	（新規）緑化推進デジタル運営経費	－	－		1,696	342	0.2				
11	緑化推進運営経費	－	－		35,998	7,625	3.7			1.0	
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					683,591	558,307	17.0	1.0		2.0	

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員（人事課予算）2,800

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	01	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 01　緑化推進センター運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の“みどり”に関する意識の高揚、知識や技能を高める緑化活動拠点として、フラワーアレンジメント、生垣の作り方、剪定の仕方などの各種講座を開催し、緑の普及啓発活動を行う。また、県内唯一の都市緑化植物園として緑の相談所を開設し、質の高い市民サービスの提供を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1978	ー	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑤ジェンダー					
⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性	・31の見本園を活用した専門的な相談から入門編の講習・相談など、誰でもみどりを愉しめる施設として提供する。また、園内利用者が、緑の必要性を感じられ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つ場を提供する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	40,628	46,580	41,806	44,141	42,481	47,457
	決算	40,007	46,421	41,773	43,690	42,331	47,455
	国・県支出		112				
	市債						
	その他	657	668	649	350	192	63
	一般財源	39,350	45,641	41,124	43,340	42,139	47,392
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		5,180	5,260	5,960	5,260	4,560	4,560
人工	正規	0.7	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6
	再任用(31h)		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					
年間経費(決算+A+B)		45,187	51,681	47,733	48,950	46,891	52,015

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
講座・講習会への参加人数（人）　※イベント、即売会を除く		目標	4,750	4,800	4,850	4,900	4,950	5,000
		実績	5,017	3,895	4,254	4,172	4,965	6,042
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	01	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・緑の基本計画の目標実現に向け、施設の利用促進を図る。
・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行う。
・今年度も新型コロナウイルスの状況を踏まえ、必要な対策を実施し、可能なイベントを市民協働で開催することにより交流を深め、緑化推進拠点としての充実を図る。
・31の見本園を活用した専門的な実技講習会や知識の啓発を図る講座の開催等により、“みどり”を愉しめる拠点づくりを行う。
・風致地区内住宅生垣用苗木及び緑地協定区域樹木等の交付を行う。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

・「みどりの夏まつり」「落ち葉まつり」など各種イベントや講座を再開し、来園者に緑の場の提供に寄与した。
・市民への学びの機会の提供に努めたことにより、目標を達成することができた。
・パンフレットのリニューアルや園内資源を活用したオリジナルグッズの販売をするなど、普及啓発活動に努めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・光熱費の高騰に伴い、電気料金が上昇した。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　改善　小項目　委託・指定管理 / 改修・更新　事業費　現状　人工　現状

・施設全体の再生計画を検討し、老朽箇所の改修を行った。
・浜松市の緑化推進拠点としての情報発信と利用者目線に立った緑の空間の提供に努めた。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　委託・指定管理 / 改修・更新　事業費　現状　人工　現状

・次期、指定管理更新手続きに向けて、適切な維持管理費を積算し、精査を進める。
・施設全体の再生計画を検討し老朽箇所の改修を行う。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	02	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 02　舘山寺総合公園運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

花と緑をテーマとした観光拠点として、来園者に対しおもてなしの空間を演出する。また、フラワーパークと動物園を一体的に管理するなど、効率化に向けた改善を行い、将来まで持続できる施設運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2013	ー	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	（施策）	Ⅲ−2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑤ジェンダー			⑧成長・雇用		
⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性	・浜名湖観光圏の中核となる施設として観光業の集客に貢献している中で、雇用創出、花みどり文化振興・産品販促に繋がる政策を立てる。 ・花の聖地として、花みどり文化を国内外を問わず多くの人々に提供する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	638,508	358,843	361,258	249,704	568,858	219,862
	決算	612,366	349,319	357,138	239,369	568,275	219,802
	国・県支出	202,800	150,628	61,806	17,174	26,773	
	市債	227,000			4,600	41,300	
	その他	34,369	30,712	11,099	11,437	128,494	131
	一般財源	148,197	167,979	284,233	206,158	371,708	219,671
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		21,700	18,200	17,500	17,500	30,800	37,100
人工	正規	3.1	2.6	2.5	2.5	4.4	5.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		634,066	367,519	374,638	256,869	599,075	256,902

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
フラワーパークの入園者数（人）		目標	490,000	500,000	470,000	470,000	470,000	470,000
		実績	460,286	351,176	352,359	408,881	394,914	670,090
観光交流客数（千人/年）	Ⅲ−2(2)イ	目標	23,700	20,400	20,800	21,200	21,600	22,000
		実績	19,441	9,940	11,890	14,452	17,493	2025.10月頃確定
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	02	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・浜名湖花博20周年記念事業開催に向け、会場整備と魅力度アップによりコロナ禍で減少した集客の増を図る。
・花博に相応しい花修景、デジタルイベント、交通計画を実施計画に基づき具体的な整備と関係機関調整を実施する。
・来園者が安心して快適に施設を利用できるよう、施設のUD化や老朽化した施設の改修を実施し、長寿命化対策も進める。
・ホームページやSNSを活用した情報発信に注力し、最新情報の発信に努め、園の魅力を国内外にアピールする。
・動物園、緑政課、財団の三者が協力し、舘山寺総合公園としての一体感を利用者が感じられるよう、両施設の特徴を活かした運営と集客力の強化を図る。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

・浜名湖花博20周年記念事業の期間中は、全体目標としていた95万人を上回り、100万人を達成することができた。はままつフラワーパーク会場における入場者数も目標40万人を大きく上回る493,630人が来場された。
・新たに整備した花壇やサクラ、チューリップ、フジ、バラ、ハナショウブ、アジサイといった花のリレーにより、フラワーパークの魅力を全国にPRできた。
・また、サクラの更新や三角花壇の更新工事にも着手し、更なる魅力向上に努めました。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・エネルギー価格高騰に伴い、光熱水費や種苗費等のコストが上昇した。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　改善　小項目　情報発信　/　改修・更新　事業費　現状　人工　現状

・入園者数は、前半の浜名湖花博20周年記念事業の効果が大きく、67万人に来場いただき、目標を大きく上回ることができたが、後半は、入園者数が計画より下回っているため、秋・冬の集客に向けた運営の工夫が必要であると考える。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　改修・更新　/　委託・指定管理　事業費　現状　人工　現状

・指定管理の更新手続きにおいて、適切な維持管理経費を積算し、精査を進める。
・ホームページやSNSを活用した情報発信に注力し、園の魅力を国内外にアピールし、インバウンド、個人・団体客への集客力強化に努める。
・老朽化した施設・設備の改修等を計画的に行い、長寿命化対策を進めていく。
・動物園との一体感を出せるよう、協力体制を充実させていく。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	03	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 03　花と緑のまち・浜松推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

「花と緑の祭」などのイベントの開催やボランティア団体への支援を通じて花と緑に親しむ市民を増やし、「花と緑のまち・浜松」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1956		一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	ー	（施策）							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性	・公共空間への花飾りや花ボランティアの育成を通じ、自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つことができる。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	77,733	73,761	73,234	80,195	76,066	77,657
	決算	75,090	67,115	68,845	76,529	75,178	76,938
	国・県支出						
	市債						
	その他	1	65,646	5,258	5,742	6,329	6,567
	一般財源	75,089	1,469	63,587	70,787	68,849	70,371
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		28,700	24,160	24,160	24,160	26,600	25,200
人工	正規	3.7	3.0	3.0	3.0	3.4	3.2
	再任用(31h)		0.1	0.1	0.1		
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		103,790	91,275	93,005	100,689	101,778	102,138

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
花づくりに関連するボランティア参加者数（人）		目標	13,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績	11,003	7,318	7,092	7,333	9,276	8,136
企業展示花壇設置数（対象箇所に対する企業展示割合%）		目標	50	50	50	50	50	50
		実績	49	54	38	38	35	35
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	03	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・「浜松市花と緑の連絡協議会」などのボランティア団体を支援する。
・「花と緑の祭」などの緑化啓発イベントについて、市民が参加しやすい方法を検討し、継続して開催する。
・オープンガーデンなどの市民活動を支援する。
・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動を推進する。
・JR浜松駅前のモザイカルチャーや花壇などの展示物を適正に維持管理する。
・企業展示花壇への参加企業増を目指し、今後もPRを実施していく。問合せ企業もあり、チャンスを逃すことなく参加していただけるよう粘り強く交渉を継続させていく。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　遅れている

・「花と緑の祭」や「鍛冶町通り植替え作業」、「花と緑のコンクール表彰式」などを市民協働で開催させることが出来た。
・各ボランティア団体の活動は、高齢化に伴う活動の縮小、団体の解散などの要因により会員数は減少傾向にある。そのため、従来通りの活動が再開されたが、前年度より参加者数を増やすことはできなかった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

新型コロナウイルスの影響や高齢化により、ボランティア団体の会員数は様々な要因により減少傾向にある。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　改善　小項目　協働・助成　/　委託・指定管理　事業費　現状　人工　現状

・従来通りのイベントを再開させ、花と緑のまち・浜松の普及啓発を推進させた。
・地域における花づくりや、沿道・協働センターなどを花で飾る花いっぱい運動が推進できた。
・前年度企業への声掛けやPR動画を作成し、当年は営業活動なども行ったが、企業展示花壇数の回復にはなっていない。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　協働・助成　/　委託・指定管理　事業費　現状　人工　現状

・沿道、公共施設への園芸資材交付の申請数、申請額ともに増加しているが、申請に対し8割程度の交付を実施している。花と緑のまちを推進するためには協働の取り組みが重要であり、市民活動団体から求められる資材を適切に交付できるよう、交付対象などの検討を今後も継続して行う。
・各種イベントへ、一人でも多くの市民参加が図られるよう工夫する。
・企業展示花壇への参加企業を増やすためのPRを継続していく。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	04	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 04　緑地保全事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・特別緑地保全地区や市民の森、保存樹・保存樹林を指定するとともに、協働による緑の維持管理体制を構築し適正に維持管理することで、都市部における貴重な緑を次代に引き継ぐ。
・民間事業所に対し緑化を指導し、緑豊かなまちづくりを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1977		一般会計	自治事務	都市計画法,静岡県立自然公園条例,緑の保全及び育成条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	―	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	―	（施策）							

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
⑪都市				⑮陸上資源					
事業とゴールの関連性	・緑地の保全や自然公園等の保護を通じ、生態系の保護・回復を行い、森林をはじめとする陸域生態系を持続可能にするとともに、生物多様性の損失を阻止する。 ・緑地を適切に保全することで、自然災害にしなやかに対応する力の強化に寄与する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	33,815	32,392	34,131	40,998	40,215	36,208
	決算	31,158	30,852	32,048	38,740	38,845	35,255
	国・県支出						
	市債						
	その他	107	120		807		
	一般財源	31,051	30,732	32,048	37,933	38,845	35,255
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		26,740	26,320	22,120	22,480	19,340	17,940
人工	正規	3.5	3.4	2.8	2.8	2.3	2.1
	再任用(31h)		0.7	0.7	0.8	0.9	0.9
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8					
年間経費(決算+A+B)		57,898	57,172	54,168	61,220	58,185	53,195

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
保全が担保される緑地の面積（ha）		目標	165	180	195			
		実績	84	84	84			
市民協働による緑地保全活動に参加した市民（人）		目標				2,100	2,120	2,140
		実績				2,094	2,200	1,915
事業所緑化指導数（件）		目標	80	80	80			
		実績	69	65	63			
事業所緑化指導基準達成事業所の割合（%）		目標				81.0	81.5	82.0
		実績				62.7	69.1	78.0
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	04	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・保存樹・保存樹林を指定し、その所有者（管理者）の維持管理に対して報償金を交付する。
・保存樹・保存樹林のうち名松については、松くい虫を防除するために必要な薬剤注入の費用を助成する。
・市民の森指定地の所有者（管理者）の維持管理に対して報償金を交付する。
・市民の森では、保全方針書に基づいた市民活動の積極的な展開を促すとともに、富塚川平市民の森においては、地域住民などが講座に参加し保全活動を作った。
・市内の「市民の森」を有効利用した自由な企画事業を募り、市民協働の手法により積極的な市民活動を担う市民団体の掘り起こしや人材育成を図る。
・特別緑地保全地区（富塚椎ノ木谷地区）では、市民協働による自然環境の適正な維持管理を行うとともに、市民活動を活発化させる施設整備を行う。
・風致地区や自然公園（国定・県立）などにおいて、建築制限や緑化についての指導を行う。
・工場などの事業所に対し、「浜松市事業所等敷地内緑化指導要綱」に基づき緑化指導を行う。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　遅れている

・2015年9月に緑地保全の優先順位付けと保全の方法を定めた、「地域制緑地指定及び見直し計画」を策定して、市民協働を取り入れた市民の森の保全や風致地区の指定及び見直しの道筋を示した。
〈緑地指定状況：2024年度末〉
　景観重要樹木　1本、保存樹　54本、保存樹林　77箇所42.6ha、市民の森　34.6ha、特別緑地保全地区　6.7ha
・市民の森及び保存樹林などの指定はほぼ横ばいが続き、指標となる面積は変更なし。
・市民協働による保全は、計画初期段階において地域住民等の機運の醸成に時間を要する。
・事業所等緑化協議　50件　緑化基準を満たすよう指導する。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・保全活動団体の構成員の高齢化により、活動の継続が困難になる団体が増加することが推測される。このため、活動団体の継続的な活動が可能となる環境づくりが課題である。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　／　　事業費　現状　人工　現状

・市民の森や保存樹・保存樹林の所有者の維持管理に対し報償金を交付した。
・市民協働による保全を推進するため、富塚川平市民の森において、地域住民などが参加する保全活動を行った。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　協働・助成　／　人材育成　事業費　現状　人工　拡大

・富塚川平地区市民の森において、保全方針及び活動計画に基づき市民協働による緑地保全活動を推進する。
・富塚川平地区のみならず、他地区の市民の森においても市民協働による保全活動を推進する。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	05	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 05　緑の基本計画事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・2020年度末に策定した浜松市緑の基本計画の推進のために必要な市民・事業者による取り組みを促進する。
・浜松市緑の基本計画の目指す姿及び基本目標を実現するため、推進体制を構築し、市民協働によりみどりに関する施策・事業の実施に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	－	一般会計	自治事務	都市緑地法

(3) 事業の位置付け

主要事業	―	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育				⑧成長・雇用		
⑪都市			⑭海洋資源	⑮陸上資源		⑰実施手段			
事業とゴールの関連性	浜松市緑の基本計画は、みどりによってまちづくりの課題解決を目指し、持続的に発展する都市の実現に貢献する計画であり、計画したプロジェクトや推進プログラムを実施することにより、まちづくりや環境、教育、産業、雇用等に繋げる。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				2,541	4,020	5,778
	決算				2,541	4,020	5,778
	国・県支出						
	市債						
	その他				196		
	一般財源				2,345	4,020	5,778
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）				6,300	4,900	4,900	4,900
人工	正規			0.9	0.7	0.7	0.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)				6,300	7,441	8,920	10,678

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
「緑の基本計画」推進体制の構築に向けた事業の実施		目標			愉しみ方PR HP開設	総合窓口設置 人材育成事業開始	カシニワ制度運用開始 人材育成事業継続	指定管理者制度活用 人材育成事業継続
		実績			愉しみ方PR HP開設準備	総合窓口設置 HP開設 人材育成事業開始	カシニワ制度運用準備 HP運用 人材育成事業継続	指定管理者制度活用 人材育成事業継続
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	05	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・浜松市緑の基本計画に掲げる推進体制の構築に向けた事業を行う。
・みどり生活の愉しみ方を市民や事業者へ広くPRするため、市ホームページ上に専用ページを開設し、基本計画に基づき取り組む制度や緑に関する情報発信を行うとともに、ソーシャルメディアを活用した情報発信にも取り組む。
・推進体制を担う人材の育成・発掘を行う。
・「緑の基本計画」推進プログラムを策定・公表し、進行管理を行う。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

・市ホームページ上で専用ページを運用、フェイスブック等のソーシャルメディアの活用と併せ、基本計画に基づき取り組む制度や緑に関する情報発信を行った。
・業務委託にて人材育成事業を実施し、講座や相談会等の事業に延べ70名程度が参加した。今後、市民や民間事業者がみどりを活かしてまちづくりの課題解決をするための活動を始めるために必要な伴走や各種支援のための制度を拡充する必要がある。
・「緑の基本計画」推進プログラムを策定・公表し、進行管理を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・民間活力を最大限活かして、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現するため、都市緑地法等の法律が改正された。（平成29年5月）
・多様で複雑な社会状況の変化を踏まえ、国土交通省より都市公園新時代に向けた重点戦略が示され、「使われ活きる公園」を目指す重要性が高まっている。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　改善　小項目　情報発信　/　収集・分析　事業費　現状　人工　現状

・人材育成事業に係る情報発信におけるPR強化の取り組みとして、チラシの作成、ホームページ情報を充実させた。
・推進体制を構築するために必要な民間人材の育成及び掘り起こしのため、相談会内容を充実させ、活動団体発足の支援を行った。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　人材育成　/　人材育成　事業費　現状　人工　現状

・市民のやりたい事業提案だけでなく、行政が抱える課題解決に向けた提案も促すため、人材のつながりを深める交流会などマッチングの場を設け、市民協働の取り組みをより一層推進させる。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	06	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 06　市街化区域内農地緑化保全事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

都市部の貴重な緑のオープンスペースとして機能している市街化区域内の農地を保全するため、生産緑地地区の指定や特定市民農園（いきいき菜園）の維持・運営を行う。なお、本事業は、市街化区域内農地の宅地並み課税に対する支援策として始めた。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	ー	一般会計	自治事務	生産緑地法、市民農園整備法、市民農園条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓								
⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性	・生産緑地地区や特定市民農園を事業継続し、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供することで、人間居住を実現する。 ・特定市民農園を市民が利用することで、持続可能な生産消費形態の確保に寄与する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
事業費(千円)	予算	9,082	9,256	9,478	6,992	6,600	7,241
	決算	8,749	8,933	9,159	6,607	5,966	6,802
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,640	1,780	1,842	1,631	1,603	1,589
	一般財源	7,109	7,153	7,317	4,976	4,363	5,213
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		6,300	7,000	5,600	5,600	3,500	3,500
人工	正規	0.9	1.0	0.8	0.8	0.5	0.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		15,049	15,933	14,759	12,207	9,466	10,302

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
市街化区域内の農地に対する生産緑地地区と市民農園の割合(%)		目標	13	16	19	23	6.7	7.0
		実績	5.9	6.2	6.5	6.4	6.7	7.0
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	06	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・市街化区域内の農地を生産緑地地区として指定し、現地の保全の状況を確認する。
・市街化区域内の農地を特定市民農園（いきいき菜園）として維持・運営し、利用する市民に貸し出す。
・協働センターなどにおいて、家庭でできる野菜栽培講座を開催する。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　達成

＜特定市民農園の設置＞市街化区域内の中学校区に概ね1箇所　計25箇所を目標として開設する。
・2008　4箇所（楊子 篠原 三ヶ日 文丘）　70区画 4,672㎡
・2009　4箇所（入野 小豆餅 染地台 鴨江）52区画 4,081㎡
・2010　3箇所（北島、楊子第二、横須賀）40区画 3,244㎡
・2011　北島の区画増設 15区画　総計177区画 11,997㎡
・2014　北島の区画増設 1区画　総計178区画 12,286㎡
・2021　小豆餅廃止（13区画 837㎡）総計165区画11,449㎡　　現在は、計10箇所
＜菜園栽培講座＞12回開催
＜生産緑地の指定状況＞　134箇所　16.15ha

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

・市街化区域内農地の減少傾向が続いている。
・未経験の規模の自然災害が増加している。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　改善　小項目　情報発信　/　人材育成　事業費　現状　人工　現状

・特定市民農園（いきいき菜園）を利用者に提供するとともに、食や緑に関する講座を充実し、市民農園の魅力を高めた。
・2020年度に生産緑地地区の指定要件を500㎡以上から300㎡以上とする条例制定を行ったことについて、農地所有者等への広報を行った。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　情報発信　/　人材育成　事業費　現状　人工　現状

・開設10箇所の農園は、農地所有者と市が20年間の使用貸借契約を結んでいる。また、空き区画が存在する農園もあるため、空き区画を減らすための検討を行っていく。
・生産緑地法等の改正に伴い指定面積要件を緩和する条例を制定したため、農地所有者に指定申し出を促すことにより、市街化区域内農地の保全を推進する。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	07	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 07　浜松城公園長期整備構想推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

2014年2月に策定・公表している浜松城公園長期整備構想に基づき、埋蔵文化財包蔵地である旧元城小学校跡地と駐車場エリアについて遺構調査を行い、その調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを検討する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	2023	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用		
事業とゴールの関連性	遺構調査を行い、発見された遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりに繋げることで新たな観光資源として持続可能な観光業の促進につながる。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	62,241	57,733	63,150	38,127	1,050	5,576
	決算	60,642	56,205	62,297	37,836	660	5,483
	国・県支出		27,335				
	市債						
	その他						
	一般財源	60,642	28,870	62,297	37,836	660	5,483
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		2,100	2,100	2,100	2,100	1,400	1,400
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		62,742	58,305	64,397	39,936	2,060	6,883

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松城跡（元城小跡地）の発掘調査の進捗率（%）		目標	25	50	75	100	－	－
		実績	25	50	75	100	－	－
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	07	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

過去3年の遺構掘削調査結果を踏まえた遺構の保存、活用、整備手法を考慮した公園づくりを庁内連携を密にし、調整を十分に行いながら検討する。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　不明

公園づくりの検討に係る事項として、大河ドラマ館終了後の建物活用案である徳川家ゆかりの資料収蔵展示施設整備について、庁内関係課で協議調整を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

旧元城小跡地を指定史跡とすることを目指している。
大河ドラマ館終了後に残る建物の有効活用が求められている。

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　改善　小項目　その他　/　その他　事業費　現状　人工　現状

遺構調査を踏まえた公園づくりのため、現在策定中の「市史跡浜松城跡保存活用計画」や、国史跡指定を目指す動きなどを踏まえるほか、徳川家ゆかりの資料収蔵展示施設整備の方向性など、庁内調整を十分に行いながら検討を進めた。
葵広場について、隣接する浜松城公園と連携し、安全を確保した上で、一般開放した。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　改善　小項目　その他　/　その他　事業費　拡大　人工　現状

・大河ドラマ館施設の有効活用について、「市史跡浜松城跡保存活用計画」や、国史跡指定を目指す動きなどを踏まえながら庁内調整を十分に行いながら検討を進める。
・旧元城小跡地の既存擁壁について、改修工法の検討を進める。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	08	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 08 （新規）日本植物園協会大会開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

全国的な植物園ネットワークを通じて、植物園及び植物に関する文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保全に貢献し、人類と自然が共生する豊かで持続的な社会の実現に寄与することを目的に設立されている、公益社団法人日本植物園協会第60回大会を、2025年に浜松で開催し、全国へのフラワーパークのPRと「花と緑のまち・浜松」のイメージを発信する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2024	ー	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

								⑨イノベーション	
⑪都市									
事業とゴールの関連性									

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						15,304
	決算	0	0	0	0	0	15,304
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源						15,304
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		0	0	0	0	0	2,100
人工	正規						0.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		0	0	0	0	0	17,404

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	（管理番号）所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	08	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・日本植物園協会第60回大会開催に向けて、実行委員会を組織する。
・日本植物園協会の正会員である花みどり振興財団と業務を分担する。
・主に関係省庁、関係機関との連絡調整を行い、来賓の出席や会場警備体制等を整え準備する。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　達成

・大会に向けて、実行委員会を組織し、花みどり振興財団と市で役割分担を明確にした。
・関係省庁、関係機関と綿密に調整を重ね、準備したことにより、滞りなく大会運営が出来た。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　終了　小項目　　/　　事業費　　人工

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　　小項目　　/　　事業費　　人工

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	09	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 09　花と緑の基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

花と緑の基金に寄せられた寄附金を積み立てるとともに、その原資を活用して緑地の保全と緑化の推進を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	ー	一般会計	自治事務	花と緑の基金条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	ー	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

					⑥水・衛生				
⑪都市				⑮陸上資源					
事業とゴールの関連性	基金運用益を活用し、樹木交付事業などによる緑地の保全及び緑化の推進を行うことで生態系の保護・回復を行い、水と衛生の持続可能な管理を確保する。								

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	500	500	500	500	500	135,257
	決算	234	414	370	229	269	134,980
	国・県支出						
	市債						
	その他	234	414	370	229	269	134,980
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		1,634	1,814	1,770	1,629	1,669	136,380

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
花と緑の基金に寄せられた寄附金（千円）		目標	500	500	500	500	500	1,000
		実績	234	414	370	229	269	134,980
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号）								
	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	09	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・「花と緑の基金」の趣旨に賛同した市民から寄せられた寄附金を積み立てる。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　進んでいる

・2024年度も、募金箱による寄付に加え、浜名湖花博20周年記念事業による寄附があり、目標を大きく上回った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

・基金を適正に管理した。

・2024年度末残高＝139,997,092円

（11,584,080円《2023年度末残高》＋ 134,980,012円《2024年度寄附合計》－ 6,567,000円《2024年度取崩し》 ）

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

・継続して基金を適正に管理する。

・基金の周知のためのPRを推進する。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	10	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 10 （新規）緑化推進デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

舘山寺総合公園（フラワーパーク・動物園）における、来園者の利便性向上、業務の効率化、新型コロナウイルス等感染症対策の観点から、両施設の入園料徴収業務についてキャッシュレス決済機器の導入を実施する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2024	ー	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	ー	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	ー	（施策）							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						342
	決算						296
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源						296
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）							1,400
人工	正規						0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)							1,696

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	10	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

・舘山寺総合公園（はままつフラワーパーク・動物園）の入園料徴収業務にて、2024年9月より入園料キャッシュレス決裁の運用を開始する。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度　計画通り

キャッシュレス決裁機器の導入事務を適切に行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

キャッシュレス決裁機器の導入事務を適切に行った。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目　現状　小項目　　/　　事業費　現状　人工　現状

キャッシュレス決裁機器の契約事務を適切に行う。

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	11	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

事業シート　（事業名） 11　緑化推進運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・緑政課の一般事務に要する経費。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1986	－	一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	―	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。
総合戦略	―	（施策）

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性									

2 事業コストの状況（千円）

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	7,634	10,014	6,354	7,637	6,710	7,625
	決算	7,232	9,453	5,183	6,777	6,033	7,298
	国・県支出						
	市債						
	その他	5	28	1	2	9	1
	一般財源	7,227	9,425	5,182	6,775	6,024	7,297
	一般会計繰入金						
人件費（報酬等）（A）							
人件費（人工分）（B）		29,400	29,400	29,400	28,700	28,700	28,700
人工	正規	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		36,632	38,853	34,583	35,477	34,733	35,998

3 事業の指標の状況（2024：総合戦略・基本計画最終年度）

指標名称	総合戦略施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

2024年度	（管理番号） 分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	（担当課）	（責任者）	（基準日）
	03	03	08	01	002155000	11	緑政課	廣野　浩之	2025.7.1

4 当年度（2024年度）事業実施内容　（Do）

緑政課の一般事務を行う。

5 当年度（2024年度）事業評価　（Check）

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

緑政課の一般事務を適切に行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化　（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

6 事業の見直し（Action）

(1) 当年度（2024年度）見直し内容（実施結果の振り返り）

大項目 現状　小項目　／　事業費 現状　人工 現状

緑政課の一般事務を適切に行った。

(2) 翌年度（2025年度）以降見直し内容（今後の方向性）

大項目 現状　小項目　／　事業費 現状　人工 現状

緑政課の一般事務を適切に行う。